

発表プログラム Program

口頭発表プログラム Oral presentations

A 会場:D20 号室、B 会場:D30 号室

A 会場 9 月 13 日 AM

開始	番号	演題	発表者
9:00	A1	インドネシアの越冬地におけるハチクマの環境選択と気候変動の影響	Syartinilia Wijaya・Aryo Adhi Condro (ボゴール農科大)、○樋口広芳 (慶應大)
9:15	A2	サシバは同じ繁殖地と越冬地を利用するのか?	○鳥飼久裕 (奄美野鳥の会)・東淳樹 (岩手大)・井上剛彦 (ARRCN)・遠藤孝一 (WBSJ)・出島誠一 (NACS-J)・内藤アンネグレート素 (ARRCN)・葉山政治 (WBSJ)・藤井幹 (WSPB)・松永聡美 (WSPB)・山崎敦子 (ARRCN)・山崎匠 (ARRCN)・与名正三 (奄美の自然を考える会)・和田のどか (ARRCN)・山崎亨 (ARRCN)
9:30	A3	北海道で繁殖するヨタカの渡りルート	○山浦悠一 (森林総研)・雲野明 (道総研林試)・河村和洋 (森林総研)・先崎理之 (北大)・佐藤重穂 (森林総研)・大谷達也 (森林総研)・Greg Conway (BTO)
9:45	A4	ケリの親子・兄弟、およびペアの GPS 追跡から見えてきたこと	○脇坂英弥 (関西ケリ研究会)・脇坂啓子 (関西ケリ研究会)
10:00	A5	続・「2 羽どまり」の謎:九州で越冬なわばりを共有するノスリ複数組の遠隔追跡	○中原亨 (北九博)・伊関文隆 (希少生物研)・吉岡俊朗 (おおせっからんど)・長井和哉 (岩手大)・雀ヶ野孝 (長崎大)・大槻恒介 (長崎大)・中山文仁 (自然研)・山口典之 (長崎大)
10:15	A6	GPS 発信機によるイヌワシの追跡結果	○中島拓也 (ラプタージャパン) 阿部學 (ラプタージャパン) 橋本哉子 (ラプタージャパン)
休憩			
10:35	A7	スワンププロジェクトー鳥類の渡り追跡公開と市民科学	○嶋田哲郎 (伊豆沼財団)・小西敢 (クツチャロ湖水鳥観察館)・李国政・史国? (ドルイドテクノロジー)・樋口広芳 (慶應大)
10:50	A8	クロツラヘラサギの行動調査で見た小型ドローンの有効性と注意点	小久保守晃 (葛西のクロツラ)、北村亘 (葛西のクロツラ、東京都市大)、○木村成美 (NPO birth)、上原文弥 (葛西のクロツラ)
11:05	A9	Ubilink Satellite System for Biotracking	LI GUOZHENG (Druid Technology Co., Ltd.)

11:20	A10	気候条件の異なる移住先におけるメジロの繁殖生理学的応答	○堀江明香(大阪自然史博)・平井仁智(岡山理大・理)・山内悦子(沖縄こどもの国)・金城輝雄(沖縄こどもの国、現:RWRCC)・吉見裕子(沖縄こどもの国)・築場未来(沖縄こどもの国)・中村智映(沖縄こどもの国)・金尾由恵(沖縄こどもの国)・林花奈子(池田動物園)・花島里奈(池田動物園)・西村慶太(天王寺動物園)・尾曾芳之(天王寺動物園)・小川由華(天王寺動物園)・高見一利(天王寺動物園、現:豊橋総合動植物公園)・武山智博(岡山理大・生物地球)・清水慶子(岡山理大・理)
11:35	A11	換羽、生活史、生態、発色メカニズムから、ルリビタキの発色を考える	○森本元(山階鳥研)
11:50	A12	トカラ列島における鳥類群集構造	安藤温子(国環研)、飯島大智(筑波大)、井上遠(IBRG)、佐藤望(IBRG)

A会場 9月13日 PM

開始	番号	演題	発表者
13:05	A13	アカモズ人工育雛における日齢別栄養要求の推定と給餌プロトコルの検討	○行本帆花 ¹ ・間宮ふうか ¹ ・林康太郎 ¹ ・長崎汐音 ¹ ・東山咲季 ¹ ・青木楓太 ¹ ・山口達大 ¹ ・石尾雪乃 ² ・井上康子 ² ・瀧本嵐丸 ² ・八代梓 ² ・高御堂裕紀 ² ・木谷良平 ² ・高見一利 ² ・岡久雄二 ¹ (¹ 人間環境大、 ² 豊橋総合動植物公園)
13:20	A14	アカモズの放棄卵の救助と人工孵卵技術の確立に向けた試み	行本帆花(人環大)・○神谷頼杜(人環大)・間宮ふうか(人環大)・赤松あかり(長野アカモズ保全研)・原星一(長野アカモズ保全研)・藤田知弥(信大)・松山陽子(長野アカモズ保全研)・米山富和(長野アカモズ保全研)・松宮裕秋(長野アカモズ保全研)・高御堂裕紀(豊橋総合動植物公園)・八代梓(豊橋総合動植物公園)・瀧本嵐丸(豊橋総合動植物公園)・木谷良平(豊橋総合動植物公園)・高見一利(豊橋総合動植物公園)・岡久雄二(人環大)
13:35	A15	アカモズ野生個体群の補強に向けた生餌給餌訓練:採餌能力向上の試み	○間宮ふうか ¹ ・小野優苗 ¹ ・木谷良平 ² ・高御堂裕紀 ² ・八代梓 ² ・中島克之 ² ・石尾雪乃 ² ・井上康子 ² ・瀧本嵐丸 ² ・後藤巧真 ² ・高見一利 ² ・岡久雄二 ¹ (¹ 人間環境大学、 ² 豊橋総合動植物公園)

開始	番号	演題	発表者
13:50	A16	再導入コウノトリのなわばり防衛行動の性差	○白井あやか(兵庫県大)・出口智広(兵庫県大・コウノトリ郷公園)
14:05	A17	再導入コウノトリ、配偶相手の決め手は何？	○出口智広(兵庫県大・兵庫県立コウノトリの郷公園)・内藤和明(兵庫県大・兵庫県立コウノトリの郷公園)・大迫義人(兵庫県大・兵庫県立コウノトリの郷公園)
14:20	A18	再導入トキのコロニー崩壊のメカニズムについて	永田尚志(新潟大)
14:35	A19	トキ飼育下個体群の遺伝的多様性の近年における推移の評価	○角野歩夏 ¹ ・南澤夏奈香 ² ・石井森昭 ¹ ・山田宜永 ¹ ・杉山稔恵 ¹ ・谷口幸雄 ³ ・金子良則 ⁴ ・祝前博明 ⁵ (¹ 新潟大院自然科学, ² 新潟大農, ³ 京大院農, ⁴ 佐渡トキプラザ, ⁵ 新潟大佐渡自然セ)
休憩			
14:55	A20	サンジャクの捕獲事例と外来種管理	○天野一葉(琵琶博)
15:10	A21	福井県におけるソウシチョウの侵入・定着プロセス	○出口翔大(福井市自然史博)、三原学(鳥類標識協会)、吉田一郎(鳥類標識協会)、佐藤文男(山階鳥研)、澤祐介(山階鳥研)
15:25	A22	東アジアに再導入されたシジュウカラガンの千島列島における繁殖確認と夏季の行動圏	○澤祐介(山階)・池内俊雄(雁里親の会)・田村智恵子(雁里親の会)・仲村昇(山階)・Hansoo Lee(KoEco)・近藤正(秋田県大)・佐場野裕(雁保護する会)・呉地正行(雁保護する会)
15:40	A23	ヤンバルクイナの野生復帰試験の評価	○尾崎清明・森本元(山階鳥研)、渡久地豊(工房リュウキュウロビン)、中谷裕美子・玉那覇彰子・向真一郎・金城道男・長嶺隆(どうぶつたちの病院沖縄)
15:55	A24	沖縄県北部におけるヤンバルクイナの分布規定要因の特定	○原英里子(帯広畜産大)・赤坂卓美(帯広畜産大)
16:10	A25	ヤンバルクイナの交通事故要因分析とロードキルリスクマップの作成	○杉本嵩臣(いであ(株))・佐藤泰夫(いであ(株))
16:25	A26	沖縄島固有種ノグチゲラ個体群の現状と保全の展望:マンガース対策の重要性について	○小高信彦(森林総研)・渡久地豊(工房リュウキュウロビン)・長井隆(沖縄環境科学セ)、中田勝士(南西環境研)・新里和野(島嶼生物研)・宮平良成・伊藤麻衣(沖縄県)・有働竜也・庄嶋菜月(環境省)

A会場 9月14日 AM

開始	番号	演題	発表者
----	----	----	-----

9:00	A27	24/25 年シーズンの出水平野における高病原性鳥インフルエンザウイルス流行状況の解明	○江寄真南(鹿大)・奥谷公亮(鹿大)・所崎香織(鹿児島県ツル保護会)・原口優子(鹿児島県ツル保護会)・堀昌伸(鹿児島県ツル保護会)・小澤真(鹿大)
9:15	A28	卵黄中抗体を用いた非侵襲的な鶏伝染性気管支炎ウイルス抗体モニタリング	○土井貴文(PPQC,大阪公大)・加藤宏光(PPQC,Triace,大阪公大、フィリピン大)・真瀬昌司(動衛研、大阪公大)・松林誠(大阪公大)
9:30	A29	北海道西部における森林棲鳥類の住血原虫感染状況の解明	○原山法大・松井晋(東海大・院・生物)・佐藤雪太(岩手大)
9:45	A30	国内の鳥類寄生性シラミバエにおける季節消長、吸血生態および原虫保有状況	○菅澤颯人(岩大、千葉中央博市民研究員)・尾崎煙雄(千葉中央博)・木村悟朗(イカリ消毒(株)、千葉中央博市民研究員)・関まどか(岩大)・佐藤雪太(岩大)

A会場 9月14日 PM

開始	番号	演題	発表者
12:45	A31	逃避行動の進化的トラップ:なぜ鳥は接近する車の前へ飛び出すのか?	○佐藤裕太(長大)・Takao Sasaki(Univ. of Rochester)・Travis L. DeVault(Univ. of Georgia)・河端雄毅(長大)
13:00	A32	鳥類の河川橋梁の利用状況の把握に向けた現地調査	佐藤靖彦(早大)・○金森泰都(早大)
13:15	A33	大阪湾・阪南 2 区人工干潟で確認された鳥類・21 年の変遷	○風間美穂(さしわだ自然資料館)・中村進(さしわだ自然資料館)
13:30	A34	鳴き声のプレイバックによるカラスの集団のねぐら入り時の行動変化の誘発の試み	○安藤隆寛(中部電力)、北村喜文(東北大)、塚原直樹(宇大)、青山真人(宇大)
13:45	A35	札幌圏の 20 年間に及ぶカラス類のねぐら状況と人との関わりについて	○中村眞樹子・竹中万紀子(NPO 法人札幌カラス研究会)・坂元直人・渋谷裕和・滝沢太浩・笹森健太(株式会社エコテック)
14:00	A36	海鳥によるマダニおよびボレリア菌の広域拡散	石田千穂(山大)、○高野愛(山大)、水谷晃(Island Ecosystem Research)、川上和人(森林総研)、森英章(自然環境研究センター)、川端寛樹(感染研)

B会場 9月13日 AM

開始	番号	演題	発表者
9:00	B1	高時間分解能行動記録計を用いた海鳥の羽ばたきの種間比較	○原田和輝(東大)・上坂怜生(東大)・後藤佑介(名大)・成岡優(JAXA)・依田憲(名大)・綿貫豊(北大)・Francis Daunt(UKCEH)・Henri Weimerskirch(CNRS)・佐藤克文(東大)・坂本健太郎(東大)
9:15	B2	母島・海鳥・洞窟探検、科博で化石を再発見	○川上和人(森林総研)・石川弘樹(飴ミュージアム)・青塚圭一(東大総合博)
9:30	B3	知床半島における海鳥の繁殖期の生息状況(1997年から2025年)	○福田佳弘(知床海鳥研究会・バードリサーチ)
9:45	B4	北海道北部におけるウミネコの度重なる繁殖崩壊	○風間健太郎(早大)・小高歩(早大)・杉浦恭子(早大)・大槻正遼(早大)・稲本俊太(早大)・中込大河(日本気象協会、早大)・風間麻未(利尻自然史研)
10:00	B5	青森県蕪島におけるウミネコのプラスチック摂取	○新妻靖章, 芝佑果, 林千尋(名城大農環境動物)
10:15	B6	営巣位置がウミネコの採餌行動と生理応答に与える影響	○水谷友一(同志社)・後藤佑介(名古屋)・庄子晶子(名古屋)・依田憲(名古屋)
休憩			
10:35	B7	オーストンウミツバメの繁殖期前後における尾腺分泌物のメタボローム変化	○寺嶋太輝(東京農工大)・山本裕(日本野鳥の会)・永岡謙太郎(東京農工大)
10:50	B8	天売島におけるウミガラス保護の現状および繁殖失敗要因	○岩原真利・市川惇史(北海道地方環境事務所)・佐藤信彦(水産研究教育機構)
11:05	B9	オオミズナギドリ瀬戸内海繁殖集団の採餌海域および繁殖率の比較	渡辺伸一(希少鳥類研究所／麻布大)
11:20	B10	日本周辺海域を利用するセンカクアホウドリ	○富田直樹(山階鳥研)・細谷淳(鳥類標識協会)・江田真毅(北大)・泉洋江(北大)・佐藤文男(山階鳥研)
11:35	B11	アデリーペンギン幼鳥の巣立ち後の移動経路と海洋環境との関係	○北川達朗(総研大)・國分互彦(極地研)・今木俊貴(総研大)・高橋晃周(極地研)
11:50	B12	飼育下ペンギン類における同性ペアについて: つがいの意味を考える	酒井嘉子(立教大)・○上田恵介(立教大)

B会場 9月13日 PM

開始	番号	演題	発表者
13:05	B13	羽の安定同位体分析による同一地域における 60 年前と現在のスズメの食性比較	○岩見恭子(山階鳥研)・富田直樹(山階鳥研)・兵藤不二夫(岡大)・武山智博(岡山理科大)
13:20	B14	羽標本の安定同位体分析から探る沖縄島の鳥類の食性	○武山智博(岡山理大)・岩見恭子・富田直樹(山階鳥研)・兵藤不二夫(岡山大院)・水田拓(山階鳥研)・関伸一(森林総研・関西)・小高信彦(森林総研・九州)
13:35	B15	明治・大正期に東京麹町の山階宮邸で採集された鳥類標本の情報復元	小林さやか(山階鳥研)
13:50	B16	骨の計測値による日本産ウ科 4 種の同定の試み : 入江貝塚出土資料を対象とした事例研究	○江田真毅(北大)
14:05	B17	日本で繁殖するシロチドリの遺伝的多様性・遺伝的構造の把握	○末石萌乃(信州大院・総合理工学)・峯光一(徳島県庁)・澤祐介(山階鳥研)・守屋年史(バードリサーチ)・佐藤達夫(行徳自然ほごくらぶ)・北村亘(東京都市大)・山下洋平(葛西海浜公園パートナーズ)・吉田祐一(生態教育センター)・西海功(科博)・笠原里恵(信州大)
14:20	B18	2010 年代に都心緑地で繁殖を始めた小鳥類2種の遺伝的特徴	○西海 功(国立科博)・黒田清子(山階鳥研)・樋口亜紀(国立科博)・望月みずき(我孫子市鳥博)・小林さやか(山階鳥研)・齋藤武馬(山階鳥研)
14:35	B19	オオソリハシギの亜種の渡来状況把握のための予備的検討	○平岡考(山階鳥研)
休憩			
14:55	B20	北海道のノビタキは本州を通過する	○今西貞夫・田中正彦(北海道バンダー連絡会、日本野鳥の会道南松山)・安西英明(日本野鳥の会)・久下直哉(日本鳥類標識協会)・森 茂晃(ホシザキ野生生物研究所)・高橋雅雄(岩手県立博物館)・松村万知子(交野野鳥の会)
15:10	B21	長野県諏訪湖の小面積ヨシ群落におけるオオヨシキリの繁殖成績	○笠原里恵(信大)・藤原彩夏(WDB エウレカ社)
15:25	B22	ニューナイスズメの繁殖生態: 一巢の価値に着目して	○佐々木 未悠(総研大)・高橋 雅雄(岩手県博)・蛭名 純一(おおせっか)・東 信行(弘大)・沓掛展之(総研大)

15:40	B23	岩手県南部におけるクマゲラ繁殖の可能性について	藤井忠志・○籠島恵介・阿部恵彦・金沢聡・佐藤和義・原勝雄・原由美(本州産クマゲラ研究会)
15:55	B24	鳥は種子を何個ずつばら撒く?—鳥散布における種子配置パターン—	○大河原恭祐(金沢大)・木村一也(石川県森林組合)・佐藤文男(山階鳥研)
16:10	B25	富士山の火山荒原におけるヨタカの分布に関する環境要因	○水村春香(富士山研)・上田恵介(立教大)・安田泰輔(富士山研)
16:25	B26	登山者向けアプリを利用した広域的なライチョウの目撃情報収集	小林篤(環境研)・松本 英高(株ヤマッブ)・福田真(環境省)

B会場 9月14日 AM

開始	番号	演題	発表者
9:00	B27	文化は異所的種分化を加速する	○山崎剛史(山階鳥研・高知工科大)・小林豊(高知工科大)・荻原直道(東大)
9:15	B28	伊豆諸島のカラ類2種の分布は島の大きさで説明できる	○藤田薫(東邦大, バードリサーチ)・藤田剛(東大)
9:30	B29	離島に生息するウチャマセンニュウなどの生息条件について	○武田恵世(日本野鳥の会三重)
9:45	B30	大都市東京のオオタカ幼鳥の分散	○阿部 學(ラプタージャパン), 樋口亜紀(科博), 中島拓也(ラプタージャパン), 橋本哉子(ラプタージャパン)

B会場 9月14日 PM

開始	番号	演題	発表者
12:45	B31	タンチョウの Reverse mounting (逆マウント)について	正富宏之(タンチョウ研究所)
13:00	B32	侵略的外来種ウシガエルのいない水田景観でのため池と陸棲鳥類の関係を調べる	藤田剛(東大)
13:15	B33	近畿地方中部における土地利用形態と猛禽類の関係	○中津弘(温帯文化景観調査研究所)
13:30	B34	個体識別により判明したクマタカの換羽情報	○一瀬弘道 ^{1,2} ・山崎亨 ¹ (¹ クマタカ生態研究グループ、 ² いであ株式会社)
13:45	B35	渡り鳥調査におけるサーマルスコープの有効性について	○紀國聡(建設技術研究所)・岸野聡(建設技術研究所)・先崎啓究(道央鳥類調査グループ)ほか

14:00	B36	ガンカモ一斉調査を活用した水上太陽電池発電所設置によるカモ類渡来羽数変化の検討4	○尾原正敬(千代田 C)
-------	-----	--	--------------